## 公益財団法人 三重医学研究振興会

令和２年度医学研究助成金研究成果報告書

　　　　　令和3年　3月12日

**三重医学貢献賞（医学教育・社会貢献部門）**

報告者 氏名（年齢） **岸和田 昌之**（47歳）

所属・職名 三重大学大学院医学系研究科 肝胆膵・移植外科学・准教授

○ 受賞の感想と今後の抱負

平成24年に三重県下での膵臓癌に対する教育および啓蒙活動を目的として「三重パープルリボン（事務局：肝胆膵・移植外科）」を立ち上げ、医療スタッフに対しては膵臓癌に対する医学・看護教育を、一般市民に対しては啓蒙活動の「ウオークイベント」と市民公開講座の「パープルセミナー」を継続してきました。本邦では膵癌に対するこのような活動例は全国的にみてもほとんどなく、栄誉ある三重医学貢献賞（医学教育・社会貢献部門）として評価して頂いたことに感謝申しあげます。令和2年度はコロナ禍でもYouTube Live開催しましたが、10年目となる令和3年度も行政や地域医師会と連携をし、感染状況に臨機応変に対応して継続していきたいと思いますので、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申しあげます。

○ 受賞テーマ

「**三重パープルリボン活動（三重県での膵がん克服を目指した啓蒙活動、膵がん患者支援活動）の社会貢献**」

○ 医学・看護教育、医療人教育、社会貢献の分野に於いて成し遂げた顕著な業績

（1）パープルリボンウオーク＆セミナーの開催（三重県下における啓蒙活動の「ウオークイベント」と市民公開講座のパープルセミナー）

（2）膵がん教室の開催（膵がん患者さん・ご家族のための膵がん治療に対する講義や相談教室）（3）膵がんグルメディカル教室の開催（膵がん患者さん・ご家族のための調理実習、食事会、食事に関する講演）

○ 業績の概要と将来展望

＜概要＞

三重パープルリボン活動の社会貢献

　三重県での膵がん克服を目指した啓蒙、膵がん患者さん・ご家族への支援の重要性から、2012年に肝胆膵外科医を中心とした医療スタッフにて「三重パープルリボン」を設立しました。三重県民の皆さんに対しては「早期発見」 と「専門施設での治療」の重要性を認識していただくために『KNOW IT（知る）』を、膵がん患者さんやご家族に対しては膵がんで苦しむ方ゼロを目指して共に闘う「FIGHT IT（闘う）」を、医療者・研究者に対しては膵がん治療や研究に決意をもってのぞむ「END IT（撲滅する）」をスローガンにかかげて三重パープルリボン活動を行っています。三重パープルリボン活動は大きく三つに構成され、（1）「パープルリボンウオーク＆セミナー」として、三重県下における啓蒙活動と市民公開講座を2012年から毎年開催しております。2020年には、新型コロナウイルス感染症の影響にて対面式のイベントが開催できなかったため、完全Web（YouTube Live)にて開催し、対面式の時には来られなかった人達にも参加をして頂きました。（2）「膵がん教室」は、膵臓がん患者・家族さんに特化したの支援として多職種による患者教育支援を隔週にて開催し、（3）「膵がんグルメディカル教室」は、医師と管理栄養士がタッグを組んで調理実習と膵癌に特化した栄養講座プログラムを定期開催しており、個々の具体的な概要は下記に紹介します。

（1）パープルリボンウオーク＆セミナー

①継続性：2012年から9年間継続して行っていますが、膵がんに対する啓蒙活動を医療従事者が長期間継続して行っている例は本邦では私達のみです。

②行政、医師会や患者団体との協働：近年は特に、行政の立場（三重県知事、津市長）、地域医師会（津地区医師会）、膵がん患者支援団体（NPO法人パンキャンジャパン）から協力をいただいています。

③地域連携への発展：三重大学病院と津地区医師会との「膵癌早期発見プロジェクト」にも発展しました。

④学生の医療人への育成：企画・運営は医学部生をリーダーとした中高校生ボランティアにて行われており、全人的なアプローチが必要であるという医療人としての育成の場としても役割を果たしています。

（2）膵がん教室

多職種にて職種横断的に行っており、同様の形式をとっている病院は国内では、がんセンターを始め先進的なとりくみをしている20施設であり、当院は国内でもトップクラスの開催回数を行っています。

（3）膵がんグルメディカル教室

膵がんに特化した栄養プログラムはおそらく世界初の試みであり、その反響も大きく、院外での要望があり東京で2回開催しました。金沢大学、北海道大学、大阪市立大学、近畿大学、岐阜大学、佐賀好生館など他施設からの見学も来て頂いています。

＜本業績の将来期待される点＞

（1）パープルリボンウオーク＆セミナー

三重県県民および地域医師会が膵がんに対する早期発見の重要性を認知することにて、三重県内の膵がん患者さんの5年生存率の改善（尾道では同様の試みで2倍の改善）することや、専門施設での治療として集約化することにて安定化した手術や化学療法の治療を県民が享受することにより生存率の向上にも繋がっていくことが期待されます。

（2）膵がん教室

膵がんに特化した講義のため、膵がん患者さんやご家族が、他のがんや一般的への誤った理解などの改善に役立ち、きめ細かな支援により全人的な医療に繋がることが期待されます。現在、全国で20施設程度ですが、年々全国的にも広がりを見せており、三重県下への広がりも期待されます。

（3）膵がんグルメディカル教室

膵がんに患者さんの特有の病態や、栄養管理や薬剤管理を理解することにて安定したの食生活につながり、栄養状態の維持や改善に貢献できることが期待されます。

○ 本業績における実績

1）三重パープルリボン活動（開催回数と参加者）

（1）パープルリボンウオーク＆セミナー（2012-2020年）：ウオークイベント9回開催、約2700人参加、セミナー10回開催、約2900人参加、医学部・中高生と三重パープルリボン活動の企画・運営：ボランティアスタッフ約1200人

（2）膵がん教室（2012-2020年）：約200回開催、約500人参加

(3)膵がんグルメディカル教室（2012-2020年）：12回開催、約150人参加

2）全国研究会主催：第5回膵がん教室ワークショップ2015 in 津（当番世話人（申請者）、三重大学病院、2015年11月7日）、演題発表26題（特別講演2題、講演9題、ポスター15題）参加者112名、参加施設22施設

3）広報誌での紹介

（1）パープルリボン活動．三重大学病院広報誌ミニミュース、1号：1、2019年

（2）特集膵がん パープルリボン．三重大学病院ニュースミュース、27号：1-4、2018年）

4）医療サイトでの紹介

Medical Note( https://medicalnote.jp/contents/170206-006-MW )紹介：三重大学医学部附属病院の膵がん教室・パープルリボン活動―患者さんが前向きに膵臓がんと向き合うために（2017年）5）書籍内での紹介：＜いのち＞とがん　患者となって考えたこと　坂井律子　岩波新書（2019年）

6）本研究に関連する原書学術論文、著書、総説など

（1）坂本 はと恵, 池田 公史, 尾阪 将人, 上野 誠, 岸和田 昌之, 井岡 達也, 花田 敬士, 古川 正幸, 藤本 佳史, 奥坂 拓志：膵がん教室のあり方検討―主要9施設の活動状況報告―. 膵臓, 35（2）：107-114, 2020

（2）澤田 麻旺、岸和田 昌之、奥田 真弘：患者とその家族が膵癌と向き合うための支援の場：「膵がん教室」-多職種チームでつくる教室内での薬剤師の役割-．日本病院薬剤師会雑誌 55(2): 158-160, 2019

7）本業績に対し授与された賞

(1）平成26年度　公益財団法人　三重県健康管理事業センター(「がん」に関する優れた研究及びがん患者支援活動を助成し、がん征圧を推進する。)

(2）平成28年度　公益財団法人　三重県健康管理事業センター　学術助成（膵がん患者・家族の支援を目的とした「膵がん教室」活動）

(3）令和元年度　三重大学病院教育賞

８）本業績に関連する学会発表

＜学会・研究会でのランチョンセミナー＞

（1）局所進行切除不能(UR-LA)膵癌治療の現状と挑戦、第35回日本胆膵病態・生理研究会ランチョンセミナー、2018.6.16（名古屋）

（2）膵がん治療に関わる最近の話題～改訂後の膵癌取扱い規約の要点、術前化学・放射線療法の展望、膵がん教室とパープルリボン活動～、第65回日本農村医学会学会　ランチョンセミナー、2016.10.28（志摩）

＜地域での特別講演＞

（1）保険薬局薬剤師に知ってほしい膵臓がん薬物療法、第1回がん薬物療法における薬薬連携、2018.7.29（津、三重県薬剤師会主催）

（2）すい臓のお話～膵癌について～、第1回健康教育講演会、2018.6.7（津、三重県医師会主催）（3）最新の膵臓がん治療とその課題、患者支援の取り組みについて（パープルリボン活動）：滋賀県がん対策推進議員連盟勉強会、2017.2.16（大津、滋賀県癌対策推進議員連盟議員）

＜他施設研究会での講演＞

（1）膵癌患者さんへの多職種連携による関わり、臨床腫瘍セミナー、2020.10.27（Web、福島県立医科大学）

（2）膵がん教室についての勉強会、2019.9.20（岐阜、岐阜大学病院）

（3）すい臓がんについて、第8回健康教室、2019.5.28（津、榊原温泉病院）

（4）すいがん教室の実際、2018.10.12（仙台、東北大学病院）

（5）楽しんでつくる膵がん教室とパープルリボンウオーク＆セミナー～職種ごとの視点からみた企画運営を中心に～、消化器内科懇話会「膵がん・胆道がん教室」講演会、2016.6.24（広島、広島総合病院）

＜筆頭演者としての国外および全国学会発表：7演題＞

（1）Masashi Kishiwada, et al:The influence of education and support class room for pancreatic cancer patients and family by the medical team “Suigan-Kyoushitsu “: A questionnaire survey(Oral)、Pancreas Club, 2020.10.22(Virtual meeting、USA)

（2）岸和田昌之、ほか：三重パープルリボン活動：膵がん教室、膵がんグルメディカル教室、ウオーク＆セミナー（口演）第50回日本膵臓学会大会、2019.7.12(東京)

（3）岸和田昌之、他：膵癌患者支援と地域啓蒙-膵がん教室と膵がんグルメディカル教室、三重パープルリボン（口演）第49回日本膵臓学会大会、2018.7.30(和歌山)

(4）岸和田昌之、ほか：チーム医療における膵がん教室と地域啓蒙活動における三重パープルリボン運動の役割（口演）第48回日本膵臓学会大会、2017.7.14(京都)

（5）Masashi Kishiwada, et al：The influence of education and support for pancreatic cancer patients and family by the medical team “Suigan-Kyoushitsu “: A questionnaire survey（Oral)、The joint conference of the 47th annual meeting of the Japan Pancreas Society (JPS), the 20th meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) and the 6th meeting of the Asian Oceanic Pancreatic Association (AOPA) ,2016.8.6(Sendai)

（6）岸和田昌之、ほか：院内チーム医療における膵がん教室と地域啓蒙活動における三重パープルリボン運動（口演）第46回日本膵臓学会大会、2015.6.20(名古屋)

（7）岸和田昌之、ほか：医師主導の膵癌啓蒙活動－三重パープルリボン活動と膵がん教室（ポスター）、2014.7.12(北九州)

＜筆頭演者としての全国研究会の発表：6演題＞

（1）岸和田昌之、ほか：膵がんグルメディカル教室における外科医が考える「おもろい消化実験」と「らくちんな一品」とは、第9回膵がん教室ワークショップ、2019.12.7（大阪がんセンター、大阪）

（2）岸和田昌之、ほか：膵がん教室在り方検討会：パネルディスカッション（パネリスト）、第8回膵がん教室ワークショップ、2018.11.17 （国立がんセンター東病院、千葉）

（3）岸和田昌之、ほか：膵がんグルメディカル教室における医師による「おもしろ消化実験」(口演)、第7回膵がん教室ワークショップ、2018. 2.25（九州がんセンター、博多）

（4）岸和田昌之、ほか：膵がん教室メンバーが中心につくる膵がん地域啓発活動の三重パープルリボン運動（ウオーク＆セミナー）（口演）、第6回膵がん教室ワークショップ、2016.12.3（広島総合病院、広島）

（5）岸和田昌之、ほか：三重大学医学部附属病院における多職種で取り組む膵がん教室の現状と課題　～医師の立場から～（口演）、第4回膵がん教室ワークショップ、2014.10.11（神奈川がんセンター、横浜）

（6）岸和田昌之、ほか：三重大学における活動ｰ三重パープルリボンの紹介ｰ、第3回膵がん教室ワークショップ、2013.11.2（国立がんセンター中央病院、東京）

○ 略歴

学歴：

　平成10年3月　三重大学　医学部医学科　卒業

　平成15年4月　三重大学　大学院医学系研究科（博士課程）　入学

　平成19年3月　三重大学　大学院医学系研究科（博士課程）　卒業

職歴、研究歴：

　平成10年5月　三重大学医学部附属病院　第一外科　研修医・医員

　平成12年7月　鈴鹿中央総合病院　外科　医員

　平成14年4月　山本総合病院　外科

　平成16年4月　三重大学医学部　分子病態学講座

　平成19年4月　三重大学医学部附属病院　肝胆膵・乳腺内分泌外科　医員

　平成20年1月　三重大学医学部附属病院　肝胆膵・移植外科　助教

　平成23年5月　Intermountain Healthcare Center（ソルトレイク、米国） 短期留学

　平成24年4月　三重大学医学部附属病院　肝胆膵・移植外科　講師

　令和2年1月　 三重大学医学部附属病院　肝胆膵・移植外科　准教授

○ 専門分野

肝胆膵領域（特に膵臓）

○ 医学博士、専門医資格など

医学博士：平成19年3月　医学博士（医博　甲　第　903号）学位取得

専門医（指導医）資格：日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、日本肝臓学会専門医、日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医、日本移植学会移植認定医、日本DMAT隊員